

1 キリスト教教理入門

- 1 1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪

- 2 7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

2 第六部 罪論

- 20章 罪の性質と源
- 21章 罪の結果
- 22章 罪の程度

3 1. 罪の範囲

1. 旧約聖書の教え
 1. 罪の普遍性
 2. 断定的陳述
 3. 完全無欠の人でさえ
2. 新約聖書の教え
 1. 正しい人はひとりもない
 2. あらゆる箇所では仮定されている
 3. すべての人は罪の刑罰に従属している

4 2. 罪の徹底性

1. 旧約聖書の教え
 1. 状態としてよりも行為としての罪
 2. 靈的な病としての罪
 3. 内的状態としての罪
2. 新約聖書の教え
 1. イエス: 怒りと情欲について
 2. パウロの告白
3. 罪と全的墮落
 1. 「全的」の意味
 2. 「全的墮落」が意味していないもの
 3. 「全的墮落」が意味しているもの

5 3. 原罪の諸理論

1. ペラギウス主義
 1. 「腐敗」なし
 2. 「罪責」なし
2. アルミニウス主義
 1. 「腐敗」あり
 2. 「罪責」なし
3. カルヴァン主義
 1. 「腐敗」あり
 2. 「罪責」あり
4. アダムと私たちの関係

1. 連帯首長説 - 靈魂創造説 - 代表として契約
2. 自然首長説 - 靈魂遺伝説 - 有機的伝達

6 

4. 原罪: 聖書的・今日的モデル

1. アダムの罪とすべての人の罪の関係
2. すべての人は個人的に罪を犯すゆえに、罪責がある
3. 「罪を犯した」という言葉の時制
4. アオリスト(不定過去): 神に対するただ一度の永遠の反逆
5. 「代表としての契約」ではなく、「最初の先祖からの遺伝」によって
6. 追加的課題 - 幼児や子供の死
7. 主イエスとダビデの言及
8. 道徳的・靈的事柄に対する責任能力の年齢
9. アダムとキリストの平衡描写
10. 「キリストの義」の転嫁 - 意思的決断の必要、「アダムの罪」の転嫁 - 真の道徳的決断の時期
11. 無垢な時期が終わるとき、最初の罪において「アダムの罪」を批准する